

用語解説

英数

- ▶ **AED（自動体外式除細動器）**
Automated External Defibrillator の略称。突然、心停止状態に陥った人に用いる救命装置。心電図を自動計測して、必要の場合は電気ショックを与える。多くの装置は音声指示に従って簡単に操作できる。
- ▶ **DV（ドメスティック・バイオレンス）**
Domestic Violence の略称。一般的に配偶者や恋人などの親密な関係にある、または、親密な関係にあった者から振られる暴力。
- ▶ **ICT（情報通信技術）**
Information and Communication Technology の略称。情報や通信に関する科学技術の総称であり、特に電気、磁気などの物理現象を応用した器具などを用いて情報を操作する技術。
- ▶ **NPO**
Nonprofit Organization の略称。さまざまな社会貢献活動を行う、民間の非営利組織の総称。
- ▶ **PDCA サイクル（マネジメントサイクル）**
事業活動における管理業務を円滑に進める手法の一つ。Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Act（改善）の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善するサイクル。
- ▶ **Uターン・Iターン**
Uターンは、地方に生まれ育った人が都市圏への進学や就業を経た後に再び地方の生まれ故郷に戻ること。Iターンは、都市圏に生まれ育った人が、地方に移住すること。
- ▶ **SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）**
Social Networking Service の略称。インターネット上で共通の趣味を持つ人達との交流を目的としたサービスの総称。
- ▶ **Facebook**
世界規模で利用される SNS のひとつ。米フェイスブック社が提供する。
- ▶ **3R**
Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）及び Recycle（リサイクル）の総称。リデュースは、ごみそのものを減らすこと、リユースは、何回も繰り返し使うこと、リサイクルは、分別して再び資源として利用すること。

あ行

- ▶ **アウトソーシング**
業務を外部委託すること。
- ▶ **アセットマネジメント（資産管理・運用）**
さまざまな資産の管理・運用を代行すること。
- ▶ **アンテナショップ**
メーカーや地方自治体が商品を試験的に売り出す小売店舗。消費者の反応を探るアンテナの働きをもつことからいう。
- ▶ **育児・介護休業制度**
育児や家族の介護を行っている労働者について、職業生活と家庭生活の両立を支援するため、休業などを保証する制度。
- ▶ **一次予防**
病気の発生そのものを防ぐこと。食事や運動の面で普段から健康的な生活習慣を心がけること。
- ▶ **インターンシップ**
会社などでの実習訓練期間。学生が在学中に自分の専攻に関連する企業に体験入社する制度。体験就業。

か行

- ▶ **ガイドライン**
政府や団体が指導方針として掲げる大まかな指針。
- ▶ **核家族**
夫婦とその未婚の子どもからなる家族。夫婦のみの世帯や一人親世帯も含まれる。
- ▶ **簡易水道**
水道法による給水人口 101 ～ 5000 人を対象とする小規模な上水道。
- ▶ **区域区分**
都市計画によって、都市計画区域を市街化区域と市街化調整区域とに区分すること。
- ▶ **グローバル（グローバル化）**
政治・経済・文化など、さまざまな側面において、従来の国家・地域の垣根を越え、地球規模で資本や情報のやり取りが行われること。

▶ 経常収支比率

地方自治体の財政の弾力性を示す指標。地方税や地方交付税などの収入に対し、人件費や扶助費などの支出が占める割合。

▶ 健康寿命

健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間。

▶ 合計特殊出生率

女性の年齢別の出生率を合計したもの。一人の女性が生涯に産む子どもの数の平均。

▶ 交通弱者

自動車中心の社会において、自ら運転することができず、日常的な移動に不自由を強いられる人。または交通事故の被害に遭いやすい人。

▶ 国立社会保障・人口問題研究所

人口・世帯数の将来推計や社会保障費に関する統計の作成・調査研究などを行う厚生労働省の政策研究機関。

▶ 子育て世代包括支援センター

妊娠期から子育て期までの、さまざまな疑問・質問・相談に対応する総合相談窓口。利用者のニーズに合わせて、関係サービスの調整を行うなど、保健師・助産師などがサポートする。

▶ 子ども 110 番の家

いざというときに子どもたちが駆け込む避難所として、全国各地で行われている取組。

さ行

▶ 災害時要援護者

必要な情報を迅速かつ的確に把握し、災害から自らを守るために安全な場所に避難するなどの災害時の一連の行動をとるのに支援を要する人。

▶ 再生可能エネルギー

有限な資源である化石エネルギーとは違い、太陽光や風力、地熱といった自然界に常に存在するエネルギーのこと。

▶ サイクルトレイン

自宅などから乗ってきた自転車を解体せずに電車内に持ち込み、目的地まで行けるサービス。

▶ 財政力指数

地方自治体の財政力を示す指数として用いられるもので、この数値が高いほど財源に余裕があるとされている。

▶ 市街化区域

都市計画によって定められた、すでに市街地を形成している区域及びおおむね 10 年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域。

▶ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）

働くすべての人が、「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方のこと。

▶ 自主財源比率

地方公共団体が自主的に収入できる財源。この比率が高くなるほど、行政の自主性や安定性を確保することができる。

▶ 自助・共助

自助とは自分で自分を助けること。共助とは、企業や地域コミュニティで共に助けあうこと。

▶ 実質公債費比率

地方自治体の財政力を示す指数として用いられるもので、地方自治体の収入に対する負債返済の割合を示す。

▶ 循環型社会

有限である資源を効率的に利用するとともに再生産を行って、持続可能な形で循環させながら利用していく社会。

▶ 消滅可能性都市

平成 26 年に民間研究機関の日本創生会議が発表した、少子化と人口減少が止まらず（2040 年に向けて 20～39 歳の女性の数が半分以上減少）、存続が危ぶまれる 896 の市区町村。

▶ 親水空間

水や川に対する親しみを深め、人々の交流の場を創出するために整備された空間。

た行

▶ 待機児童

保育所または学童保育施設に入所申請をしているにもかかわらず、入所できない状態にある児童。

▶ **地域包括支援センター**

介護保険法で定められた、地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関。

▶ **地区計画制度**

地区の課題や特徴を踏まえ、住民と市区町村とが連携しながら、地区の目指すべき将来像を設定し、その実現に向けて都市計画に位置づけてまちづくりを進めていく制度。

▶ **地方創生**

「人口減少問題の克服」と「成長力の確保」を目標として、各地域・地方が、それぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を築くこと。

▶ **低未利用地**

未利用地（空き地、空き家、空き店舗、工場跡地のほか、耕作放棄地、管理を放棄された森林など）と、低利用地（暫定的に利用されている資材置場や青空駐車場など）の総称。

▶ **電子行政**

申請・登録・届出などをオンラインで行えるようにしたり、データベースの構築により情報の一元化を図るなど、情報通信技術を活用して行政サービスを行うこと。

▶ **道路ストック**

道路の舗装・トンネル・橋梁・法面・道路附属物（照明、標識、横断歩道橋）などの道路構造物をいう。

▶ **特定保健指導**

生活習慣病予防健診（特定健診）を受けた後に、メタボリックシンドロームのリスク数に応じて、生活習慣の改善が必要な方に行われる保健指導。

▶ **土地区画整理事業**

道路、公園、河川などの公共施設を整備・改善し、土地の区画を整え、宅地の利用の増進を図る事業。

な行

▶ **内陸性気候**

海から遠く離れた内陸部に見られる、やや大陸性気候の性格をおびた気候。気温の年変化や日変化が大きく、降水量・湿度ともに小さい。日本では、山間盆地の多くが内陸性の気候を示す。

▶ **認知介護**

認知症患者が認知症患者を介護すること。

▶ **農地中間管理機構**

高齢化や後継者不足などで耕作を続けることが難しくなった農地を借り受け、認定農業者や集落営農組織などの担い手に貸し付ける公的機関。都道府県に一つずつ設置され、農地の集約化や耕作放棄地の解消を推進する。

▶ **ノーマライゼーション**

障がい者や高齢者と健常者がお互いに特別な区別なく、等しく生きる社会・福祉環境の整備、実現を目指す考え方。

▶ **ノルディックウォーキング**

フィンランドが発祥地の 2 本のポールを使ったウォーキング。

は行

▶ **パークアンドライド**

出発地からは自動車を利用し、途中で電車やバスなどに乗り換えて目的地まで移動する方式。

▶ **ハザードマップ**

自然災害による被害を予測し、その被害の範囲について地図化したもの。予測される災害の発生地点や被害の範囲・程度、避難経路や避難所などの情報を地図上に記載している。

▶ **パブリックコメント**

行政機関が政令や省令、計画などを決めようとする際に、あらかじめその案を公表し、広く国民から意見、情報を募集する手続。パブリックコメント制度（意見公募手続）。

▶ **バリアフリー**

日常生活や社会生活における物理的、心理的な障害や、情報に関わる障壁などを取り除くこと。

▶ **避難行動要支援者**

災害が発生した際、または災害が発生するおそれがある場合、自ら避難することが困難で、円滑・迅速な避難のために特に支援を要する人。

▶ **プロモーション**

製品やサービスの販売、認知、理解、好感度などを促進・向上させる活動。

▶ ペアレンタルコントロール

子どものインターネット・携帯電話などの利用において、悪影響を及ぼす可能性のある情報にアクセスしないよう親が監視し、制限をかけること。または、そのための機能やサービス。

▶ 防災・減災

災害時に被害を出さないようにする防災に対し、減災は、被害の発生を想定した上で、発生し得る被害を最小化すること。

▶ ほ場整備

耕地区画の整備、用排水路の整備、土層改良、農道の整備、耕地の集団化を実施することによって労働生産性の向上を図り、農村の環境条件を整備すること。

ま行

▶ マイレール意識

鉄道の必要性と重要性を行政や関係機関や住民があらためて認識し、自ら地域の鉄道を守り育てていく意識。

▶ まち・ひと・しごと創生法

少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことを目的とした法律。

▶ マネジメント

さまざまな資源・資産・リスクを管理し、効果を最大化する手法のこと。

▶ 民生委員児童委員

民生委員は、厚生労働大臣から委嘱され、住民の立場で相談、支援を行うことで社会福祉の増進に努める委員で「児童委員」を兼ねる。児童委員は、子どもたちを見守り、子育てや妊娠中の不安、心配ごとなどの相談、支援を行う。

や行

▶ 有収率

給水する水量と料金として収入のあった水量との比率。

▶ ユニバーサルデザイン

文化、言語並びに国籍の違い、老若男女といった差異、障がいの有無や能力を問わずに利用することができる設計（デザイン）。

ら行

▶ ライフスタイル

生活の様式・営み方。また、人生観・価値観・習慣などを含めた生活の送り方。

▶ ライフライン

ガスや水道、電気など、日常生活に必要な線や管で結ばれたシステムの総称。

▶ レンタサイクル

貸し自転車。

▶ 老老介護

高齢者が高齢者の介護をすること。

▶ ローリング方式

施策・事業の見直しや部分的な修正を、毎年転がすように定期的に行う手法。

▶ ロコモティブシンドローム

筋肉や骨などの運動器の障害による要介護の状態や要介護リスクの高い状態。運動器症候群。

わ行

▶ ワークショップ

共同作業を通じ、課題の発見や解決策・計画案の考案、それらの評価などを行う住民参加の手法。

▶ ワンストップ

1箇所で用事が足りること。窓口一元化。総合窓口。